

(参考)

平成24年3月期 第1四半期連結決算概要

平成23年 8月4日
三井化学株式会社

(単位: 億円)

1. 損益状況

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	増 減	平成23年 3月期実績	平成24年3月期業績予想 (8/4発表値)	
					2Q累計	通 期*
売上高	3,394	3,867	473	13,917	7,700	15,800
営業利益	118	220	102	405	260	520
経常利益	114	233	119	389	270	530
当期純利益	187	123	△ 64	249	130	280
為替レート 円/US\$	92	82	△ 10	86	82	-
国産ナフサ価格 円/KL	49,600	59,000	9,400	47,500	57,000	-

	7~9月予想	10~3月予想
為替レート	82	85
国産ナフサ価格	55,000	62,000

* 通期に含まれる10~3月予想数値は、前提条件を含め5/11発表値を見直していません

2. セグメント別 売上高・営業利益
・売上高

(単位: 億円)

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	計	増 減		平成23年 3月期実績	平成24年3月期業績予想 (8/4発表値)	
				数量差	価格差		2Q累計	通 期*
石化	1,103	1,160	57	△ 36	93	4,340	2,290	4,820
基礎化学品	1,023	1,405	382	122	260	4,357	2,740	5,310
ウレタン	359	315	△ 44	△ 33	△ 11	1,448	680	1,530
機能樹脂	259	291	32	19	13	1,062	600	1,220
加工品	325	358	33	31	2	1,320	700	1,450
機能化学品	278	294	16	21	△ 5	1,198	600	1,280
その他	47	44	△ 3	△ 3	-	192	90	190
合計	3,394	3,867	473	121	352	13,917	7,700	15,800

・営業利益

(単位: 億円)

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	計	増 減			平成23年 3月期実績	平成24年3月期業績予想 (8/4発表値)	
				数量差	交易条件	固定費他		2Q累計	通 期*
石化	58	61	3	△ 14	30	△ 13	128	55	125
基礎化学品	36	129	93	21	72	-	204	175	235
ウレタン	△ 13	△ 26	△ 13	△ 9	△ 19	15	△ 90	△ 55	△ 80
機能樹脂	23	22	△ 1	-	△ 1	-	72	40	100
加工品	9	20	11	5	1	5	14	20	50
機能化学品	14	23	9	14	△ 5	-	100	35	110
その他	△ 2	△ 5	△ 3	-	-	△ 3	2	△ 5	△ 10
全社費用等	△ 7	△ 4	3	-	-	3	△ 25	△ 5	△ 10
合計	118	220	102	17	78	7	405	260	520

3. 特別損益主要内訳

(単位: 億円)

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	増 減	平成23年 3月期実績	平成24年3月期業績予想 (8/4発表値)	
					2Q累計	通 期*
資産売却益	1	2	1	7	2	2
退職給付引当金戻入額	146	-	△ 146	146	-	-
固定資産処分・売却損	△ 4	△ 3	1	△ 29	△ 9	△ 9
減損損失	-	-	-	△ 22	-	-
関連事業損失等	△ 7	-	7	△ 10	-	-
投資有価証券評価損	-	-	-	△ 7	-	-
その他	△ 10	△ 13	△ 3	△ 24	△ 13	△ 13
合計	126	△ 14	△ 140	61	△ 20	△ 20

4. 貸借対照表

(単位: 億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H23/3末	H23/6末	増減		H23/3末	H23/6末	増減
流動資産	6,660	6,892	232	有利子負債	4,807	4,842	35
有形固定資産	4,677	4,619	△ 58	その他負債	3,838	3,887	49
無形固定資産	113	129	16	自己資本	3,837	3,932	95
投資等	1,506	1,504	△ 2	少数株主持分	474	483	9
資産計	12,956	13,144	188	負債純資産計	12,956	13,144	188

(D/E) (1.25) (1.23) (△ 0.02)

5. キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	平成23年3月期 第1四半期	平成24年3月期 第1四半期	増減	平成23年 3月期実績	平成24年3月期業績予想 (8/4発表値)	
					2Q累計	通期*
営業キャッシュ・フロー	17	26	9	732	250	600
投資キャッシュ・フロー	△ 90	△ 124	△ 34	△ 432	△ 350	△ 750
(フリーキャッシュ・フロー)	(△ 73)	(△ 98)	(△ 25)	(300)	(△ 100)	(△ 150)
財務キャッシュ・フロー	△ 90	△ 50	40	△ 201	50	50
その他	△ 1	1	2	△ 18	-	-
現預金等増減	△ 164	△ 147	17	81	△ 50	△ 100

6. 当期のトピックス

- ・ Acomon社(スイス): プラスチックメガネレンズモノマーの製造・販売会社 買収 (平成23年4月)
- ・ 市原工場: 1-ヘキセン製造プラント 営業運転開始 (平成23年4月)
- ・ 佛山三井化学ポリウレタン(中国): ポリウレタンフォーム用原料 営業運転開始 (平成23年5月)



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 三井化学株式会社
コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuiichem.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 稔一

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 裾分 啓士

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	386,655	13.9	21,989	86.8	23,333	105.3	12,257	△34.5
23年3月期第1四半期	339,356	30.2	11,769	—	11,368	—	18,712	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 18,216百万円 (12.7%) 23年3月期第1四半期 16,166百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	12.23	—
23年3月期第1四半期	18.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年3月期第1四半期	1,314,371	—	441,486	—	29.9	—
23年3月期	1,295,627	—	431,101	—	29.6	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 393,222百万円 23年3月期 383,740百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	770,000	14.4	26,000	49.8	27,000	84.9	13,000	△24.1	12.98
通期	1,580,000	13.5	52,000	28.2	53,000	36.4	28,000	12.7	27.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

なお、第3四半期及び第4四半期の連結業績は、現段階では不確定な要素があるため、前提条件を含め前回発表予想数値を見直しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	1,022,020,076 株	23年3月期	1,022,020,076 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	20,118,973 株	23年3月期	20,097,891 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	1,001,907,871 株	23年3月期1Q	1,002,280,539 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)平成23年5月11日に公表いたしました連結業績予想につきましては、本日(平成23年8月4日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、第2四半期連結累計期間、通期ともに業績予想の修正を行っております。

(2)本資料に記載の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成23年8月4日に、機関投資家・アナリスト向けネットコンファレンスを開催する予定です。説明会の音声を説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般的状況)

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日の3か月間。以下、「当四半期」という。）における事業環境は、東日本大震災の影響による国内個人消費の低迷やサプライチェーンの分断に伴う企業の生産活動の低下に加え、円高や原燃料価格の高騰等により、厳しい状況が継続した一方、アジア地域の経済成長により、海外需要は好調に推移しました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	3,867	220	233	123
前年同四半期	3,394	118	114	187
増減額	473	102	119	△64
増減率	13.9%	86.8%	105.3%	△34.5%

売上高は、前年同四半期に比べ473億円増（13.9%増）の3,867億円となりました。これは、主に基礎化学品事業のアジアでの需要回復に伴う販売数量増加の影響が121億円、ナフサなどの原燃料価格上昇による販売価格の改定及び基礎化学品事業の市況改善による販売価格上昇の影響が352億円あったことによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ102億円増（86.8%増）の220億円となりました。これは、石化事業及び基礎化学品事業における取引条件の改善などによるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ119億円増（105.3%増）の233億円となりました。これは、営業利益の増加に加え、持分法による投資利益が増加したことなどによるものです。

特別損益は、震災による災害損失を13億円計上したことなどにより、前年同四半期に比べ140億円減の14億円の損失となりました。なお、前年同四半期は、退職給付制度の見直しに伴い、特別利益として146億円の退職給付引当金戻入額を計上しておりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ21億円減（8.7%減）の219億円となりました。

四半期純利益は、法人税等及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期に比べ64億円減（34.5%減）の123億円となり、1株当たり四半期純利益金額は12.23円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

(石化)

石化セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

エチレン及びプロピレンは、昨年度に実施した定期修理がなかったため、生産量がいずれも増加しました。

ポリエチレン及びポリプロピレンは、震災の影響により販売数量は伸び悩んだものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ57億円増の1,160億円、売上高全体に占める割合は30%となりました。また、営業利益は、取引条件の改善により、前年同四半期に比べ3億円増の61億円となりました。

(基礎化学品)

基礎化学品セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

フェノールは、中国等アジア地域における需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

ビスフェノールAは、主要用途であるポリカーボネート樹脂向けを中心とした需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

高純度テレフタル酸は、需要拡大による販売数量の増加及び原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇により、売上高が好調に推移しました。

ペット樹脂（ポリエチレン テレフタレート）は、本年4月の帝人化成株式会社との事業統合効果が寄与し、売上高が好調に推移しました。

エチレンオキサイド及びその誘導品は、原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇の影響により、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ382億円増の1,405億円、売上高全体に占める割合は36%となりました。また、営業利益は、一部製品を除く販売数量の増加及び好調な市況の影響により、前年同四半期に比べ93億円増の129億円となりました。

（ウレタン）

ウレタンセグメントは、全体として売上高が厳しい状況となりました。

ポリウレタン材料は、鹿島工場が震災により本年5月中旬まで生産を停止（その後の定期修理を経て6月下旬操業再開）したことに加え、震災による自動車市場の需要低迷の影響を受け、売上高が厳しい状況となりました。

コーティング材料は、震災による鹿島工場の被災に伴う生産停止及び国内自動車市場の需要低迷の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

接着材料は、国内向け軟包装用接着剤の需要が堅調に推移したこと及び中国等アジア地域での需要拡大の影響を受け、売上高が堅調に推移しました。

成形材料は、アジア地域での需要拡大と震災の復興需要により、売上高が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ44億円減の315億円、売上高全体に占める割合は8%となりました。また、営業損失は、販売数量の減少と円高による輸出採算悪化により、前年同四半期に比べ13億円増の26億円の損失となりました。

（機能樹脂）

機能樹脂セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、アジア地域を中心とした自動車及び産業材需要の伸びに的確に対応し、売上高が好調に推移しました。

機能性コンパウンド製品は、包装材用途を中心にアジア・欧州地域での堅調な需要拡大があったものの、自動車・電子部品用途等で主に震災に伴う需要低迷の影響を受け、売上高が低調に推移しました。

特殊ポリオレフィンは、電子情報関連用途を中心とする需要拡大により、売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ32億円増の291億円、売上高全体に占める割合は8%となりました。一方、営業利益は、原燃料価格の高騰及び円高の影響を受け、前年同四半期に比べ1億円減の22億円となりました。

（加工品）

加工品セグメントは、全体として売上高が好調に推移しました。

衛生材料は、中国・東南アジアにおける紙おむつの需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

半導体材料は、半導体市場の需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

エネルギー材料は、太陽電池封止材市場の需要拡大により、売上高が好調に推移しました。

包装用フィルムは、震災の復興需要及び今夏の減電対策を見込んでの前倒し需要により、売上高が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ33億円増の358億円、売上高全体に占める割合は9%となりました。また、営業利益は、販売数量の増加等により、前年同四半期に比べ11億円増の20億円となりました。

（機能化学品）

機能化学品セグメントは、全体として売上高が堅調に推移しました。

ヘルスケア材料は、メガネレンズ用材料の旺盛な海外需要及び本年4月のスイス Acomon 社の買収効果が寄与したことにより、売上高が好調に推移しました。

特殊ガスは、平成21年秋の事故により生産を停止していましたが、昨年夏に一部操業を再開したため売上高が増加した一方、**化成品**は、不採算品目整理の影響を受け売上高が減少しました。

触媒は、円高の影響により売上高が厳しい状況となりました。

農業化学品は、震災の影響により昨年度出荷予定の品目が今年度に繰り越されたため、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ16億円増の294億円、売上高全体に占める割合は8%となりました。また、営業利益は、一部製品の需要回復等により、前年同四半期に比べ9億円増の23億円となりました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ3億円減の44億円、売上高全体に占める割合は1%となりました。また、営業損失は、前年同四半期に比べ3億円増の5億円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ188億円増の1兆3,144億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ84億円増の8,729億円となりました。また、**有利子負債**は35億円増の4,842億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ0.3ポイント改善の36.8%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ104億円増の4,415億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ0.3ポイント増の29.9%となりました。

以上により、当四半期末の**有利子負債／自己資本比率 (D/E レシオ)**は、前期末に比べ0.02ポイント改善の1.23となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ147億円減少し、当四半期末には664億円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ9億円増の26億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、税金等調整前四半期純利益は減少したものの、法人税等の支払額の減少などがあったことによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ34億円増の124億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、新たな成長戦略による固定資産及び子会社株式等の取得による支出が増加したことなどによるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ40億円減の50億円となりました。前年同四半期に比べ減少したのは、少数株主への配当金の支払いが増加したものの、社債の償還による支出がなくなったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(業績の見通し)

平成23年5月11日に公表いたしました連結業績予想につきましては、本日(平成23年8月4日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、以下のとおり第2四半期連結累計期間、通期ともに業績予想の修正を行っております。

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、基礎化学品事業等を中心に全セグメントにおける販売数量の増加、及び市況の影響による交易条件の改善により、営業利益は前回発表予想数値か

ら増加する見込みです。経常利益及び四半期純利益についても、営業利益の増加に加え、持分法投資利益の増加により、前回発表予想数値から増加する見込みです。

また、第3四半期及び第4四半期の連結業績は、現段階では不確定な要素があるため、前提条件を含め前回発表予想数値を見直しておりません。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期連結累計期間	7,700	260	270	130
通期	15,800	520	530	280

上記の前提として、為替レート及び国産ナフサ価格は、4～6月 82円/\$, 59,000円/k1、7～9月 82円/\$, 55,000円/k1としております。なお、10～3月の為替レート及び国産ナフサ価格は前回発表予想時の前提(85円/\$, 62,000円/k1)から見直しておりません。

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高								合 計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	その他	全社 費用等	
第2四半期 連結累計期間	2,290	2,740	680	600	700	600	90	—	7,700
通期	4,820	5,310	1,530	1,220	1,450	1,280	190	—	15,800

(単位：億円)

	営 業 利 益								合 計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	その他	全社 費用等	
第2四半期 連結累計期間	55	175	△55	40	20	35	△5	△5	260
通期	125	235	△80	100	50	110	△10	△10	520

第3四半期及び第4四半期のセグメント別の見通しは、現段階では不確定な要素があるため、前回発表予想数値を見直しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,219	38,426
受取手形及び売掛金	264,420	275,163
たな卸資産	239,931	256,899
繰延税金資産	4,971	5,577
未収入金	66,505	73,382
その他	9,372	40,151
貸倒引当金	△442	△443
流動資産合計	665,976	689,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	314,773	316,056
減価償却累計額	△202,502	△204,245
建物及び構築物（純額）	112,271	111,811
機械装置及び運搬具	1,025,295	1,038,379
減価償却累計額	△865,120	△875,569
機械装置及び運搬具（純額）	160,175	162,810
土地	166,431	166,523
建設仮勘定	21,005	12,867
その他	60,641	61,297
減価償却累計額	△52,788	△53,434
その他（純額）	7,853	7,863
有形固定資産合計	467,735	461,874
無形固定資産	11,293	12,872
投資その他の資産		
投資有価証券	98,973	99,745
繰延税金資産	3,436	3,499
その他	49,542	48,552
貸倒引当金	△1,328	△1,326
投資その他の資産合計	150,623	150,470
固定資産合計	629,651	625,216
資産合計	1,295,627	1,314,371

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,823	207,517
短期借入金	103,092	103,068
1年内返済予定の長期借入金	23,787	21,432
コマーシャル・ペーパー	7,400	12,600
1年内償還予定の社債	21,000	31,000
未払法人税等	4,979	3,577
役員賞与引当金	79	24
修繕引当金	11,728	10,537
資産除去債務	161	—
その他	73,249	70,418
流動負債合計	442,298	460,173
固定負債		
社債	113,000	103,000
長期借入金	211,733	212,471
繰延税金負債	12,848	13,101
退職給付引当金	54,528	54,421
役員退職慰労引当金	341	273
修繕引当金	2,324	3,022
環境対策引当金	10,650	10,306
資産除去債務	2,215	2,227
その他	14,589	13,891
固定負債合計	422,228	412,712
負債合計	864,526	872,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	91,065
利益剰余金	201,692	210,940
自己株式	△14,254	△14,257
株主資本合計	403,556	412,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,490	10,012
繰延ヘッジ損益	120	21
為替換算調整勘定	△31,426	△29,612
その他の包括利益累計額合計	△19,816	△19,579
少数株主持分	47,361	48,264
純資産合計	431,101	441,486
負債純資産合計	1,295,627	1,314,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	339,356	386,655
売上原価	284,264	322,097
売上総利益	55,092	64,558
販売費及び一般管理費	43,323	42,569
営業利益	11,769	21,989
営業外収益		
受取利息	38	37
受取配当金	614	742
持分法による投資利益	1,418	2,726
その他	1,661	1,924
営業外収益合計	3,731	5,429
営業外費用		
支払利息	1,972	1,764
為替差損	1,071	1,008
その他	1,089	1,313
営業外費用合計	4,132	4,085
経常利益	11,368	23,333
特別利益		
固定資産売却益	112	229
退職給付引当金戻入額	14,618	—
特別利益合計	14,730	229
特別損失		
固定資産処分損	398	306
固定資産売却損	64	5
減損損失	—	36
関連事業損失	701	—
投資有価証券評価損	8	—
災害による損失	—	1,335
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	970	—
特別損失合計	2,141	1,682
税金等調整前四半期純利益	23,957	21,880
法人税等	3,115	4,308
少数株主損益調整前四半期純利益	20,842	17,572
少数株主利益	2,130	5,315
四半期純利益	18,712	12,257

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,842	17,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,575	△1,503
繰延ヘッジ損益	△27	△141
為替換算調整勘定	604	1,822
持分法適用会社に対する持分相当額	322	466
その他の包括利益合計	△4,676	644
四半期包括利益	16,166	18,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,620	12,493
少数株主に係る四半期包括利益	2,546	5,723

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,957	21,880
減価償却費	15,602	14,860
のれん償却額	932	423
減損損失	—	36
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,693	△108
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△34,006	757
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	42	△5
修繕引当金の増減額 (△は減少)	1,377	△493
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△99	△344
受取利息及び受取配当金	△652	△779
支払利息	1,972	1,764
持分法による投資損益 (△は益)	△1,418	△2,726
投資有価証券評価損益 (△は益)	8	—
有形固定資産除却損	264	147
固定資産売却損益 (△は益)	△48	△224
売上債権の増減額 (△は増加)	403	△8,861
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△18,118	△15,735
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,417	9,834
その他	893	△12,088
小計	9,385	8,338
利息及び配当金の受取額	1,649	1,648
利息の支払額	△1,782	△1,580
法人税等の支払額	△7,539	△5,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,713	2,568
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,977	△8,706
有形固定資産の売却による収入	184	579
無形固定資産の取得による支出	△272	△232
長期前払費用の取得による支出	△255	△110
投資有価証券の取得による支出	△366	△1,616
投資有価証券の売却及び償還による収入	421	198
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,603
その他	△701	92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,966	△12,398

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,398	△245
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	1,500	5,200
長期借入れによる収入	202	1,961
長期借入金の返済による支出	△2,239	△4,368
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の売却による収入	3	2
自己株式の取得による支出	△17	△8
配当金の支払額	△3,007	△3,005
少数株主への配当金の支払額	△1,846	△4,546
その他	△9	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,015	△5,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	△80	184
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,348	△14,687
現金及び現金同等物の期首残高	72,962	81,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,614	66,432

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	計		
売上高									
外部顧客への売上高	110,305	102,327	35,903	25,855	32,529	27,784	334,703	4,653	339,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,856	5,653	924	3,797	74	961	43,265	12,127	55,392
計	142,161	107,980	36,827	29,652	32,603	28,745	377,968	16,780	394,748
セグメント利益又は セグメント損失(△)	5,805	3,607	△1,260	2,244	909	1,348	12,653	△197	12,456

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,653
「その他」の区分の損失(△)	△197
セグメント間取引消去	△30
全社費用(注)	△657
四半期連結損益計算書の営業利益	11,769

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない戦略研究開発等に係る研究開発費等であります。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	石化	基礎 化学品	ウレ タン	機能 樹脂	加工品	機能 化学品	計		
売上高									
外部顧客への売上高	115,983	140,544	31,517	29,065	35,782	29,372	382,263	4,392	386,655
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38,624	6,147	993	3,055	23	1,325	50,167	14,630	64,797
計	154,607	146,691	32,510	32,120	35,805	30,697	432,430	19,022	451,452
セグメント利益又は セグメント損失(△)	6,088	12,897	△2,555	2,163	2,007	2,251	22,851	△504	22,347

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	22,851
「その他」の区分の損失（△）	△504
セグメント間取引消去	33
全社費用（注）	△391
四半期連結損益計算書の営業利益	21,989

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費等であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。